

【厚生委員会】

(1) 審議概観

第139回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。

なお、今国会では衆議院議員より臓器の移植に関する法律案が改めて提出されたが、同院において院議継続とされた。

また、本委員会付託の請願15種類110件のうち、5種類5件を採択した。

〔国政調査等〕

第138回国会閉会後の11月中旬、社会福祉法人の施設整備費補助金等をめぐる贈収賄事件が表面化し、同月18日、贈賄側の小山「彩（あや）福祉グループ」代表及び収賄側の茶谷元厚生省課長補佐が警視庁に逮捕され、19日、岡光厚生事務次官が辞職した。

同月28日、これらの事件について小泉厚生大臣より陳謝を受けた後、老人福祉施設の設置等に関連する不祥事に関する件について質疑が行われた。

第139回国会開会中の12月4日、警視庁は収賄容疑で岡光前事務次官を逮捕し、16日、厚生省は岡光容疑者及び小山容疑者が中心となっていた私的勉強会に参加していた厚生省関係者に関する調査結果と処分内容を発表した。

同月17日、小泉厚生大臣より老人福祉施設の設置等に関連する不祥事に関する件について改めて報告及び陳謝を受けた後、同件、医療保険制度改革に関する件、厚生省の綱紀肅正策に関する件、財団法人日本医療機能評価機構の設立等に関する件、社会保障制度改革に関する件、国立病院への病院寝具納入に関する件等について質疑が行われた。

(2) 委員会経過

○平成8年11月28日（木）（第138回国会閉会後第1回）

- 老人福祉施設の設置等に関連する不祥事に関する件について小泉厚生大臣、厚生省及び警察庁当局に対し質疑を行った。

○平成8年12月17日（火）（第1回）

- 社会保障制度等に関する調査を行うことを決定した。
- 老人福祉施設の設置等に関連する不祥事に関する件について小泉厚生大臣から報告を聴いた。

- 老人福祉施設の設置等に関連する不祥事に関する件、医療保険制度改革に関する件、厚生省の綱紀肅正策に関する件、財団法人日本医療機能評価機構の設立等に関する件、社会保障制度改革に関する件、国立病院への病院寝具納入に関する件等について小泉厚生大臣、政府委員、文部省及び法務省当局に対し質疑を行った。
- 請願第12号外4件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第52号外104件を審査した。
- 社会保障制度等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

【農林水産委員会】

(1) 審議概観

第138回国会閉会後において、農林水産政策に関する調査を行い、平成9年産米の政府買入価格の決定に当たって、食糧・農業援助の拡充に関する決議を行った。

第139回国会において、本委員会に付託された法律案は内閣提出2件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願3種類3件のうち、2種類2件を採択した。

〔法律案の審査〕

第139回国会において本委員会に付託された法律案は、農林中央金庫と信用農業協同組合連合会との合併等に関する法律案及び農業協同組合法等の一部を改正する法律案の2件であった。

両法律案については、まず、本会議において趣旨説明とこれに対する質疑が行われた後、本委員会に付託された。

農林中央金庫と信用農業協同組合連合会との合併等に関する法律案は、最近における我が国の農業及び金融をめぐる情勢の変化に対応し、農協系統信用事業の効率化及び健全な運営の確保を図るため、農林中央金庫と信用農業協同組合連合会との合併及び信用農業協同組合連合会から農林中央金庫への事業譲渡の制度を設けようとするものである。

また、農業協同組合法等の一部を改正する法律案は、最近における我が国の農業及び金融をめぐる情勢の変化にかんがみ、農協系統信用事業の再編等に対応して、農業協同組合等の健全な発展を図るため、経営管理委員会の設置による執行体制の強化、信用事業の健全性の確保を図るための監査体制の充実等の